

news release

令和7年11月7日

一般社団法人福井県中小企業診断士協会

中小企業経営診断シンポジウムにおいて松田博史（当会会員）が
「日本中小企業診断士協会連合会会長賞」を受賞しました。

11月5日 東京ガーデンパレスで開催された中小企業経営診断シンポジウムの第一分科会（中小企業診断士による経営革新支援事例論文発表）において、松田博史氏（当会会員）が、「日本中小企業診断士協会連合会会長賞」を受賞したことをお知らせします。

中小企業経営診断シンポジウムは、全国の中小企業診断士が日々の診断・支援活動を通じて得た成果を発表・共有し、診断技術の向上と地域経済の発展に資することを目的として毎年開催されているもので、全国で登録者数が2万数千人（内、都道府県中小企業診断協会会員1万数千人）の中小企業診断士が唯一全国レベルで表彰される機会です。

今回、松田氏の発表テーマ「自治体の課題に合わせた「事業者支援パッケージ」の確立」は、大野市から当協会が受託した土産品等の商品開発事業を事例としたもので、中小企業の実態に即した実践的な支援事例として高く評価され、地域に根差した中小企業支援の模範となるものとして、この度会長賞の受賞にいたりました。

松田氏は、長年にわたり福井県内の中小企業・小規模事業者に対して、経営改善、事業承継支援、創業支援など幅広い分野で実務支援を行っており、今回の受賞はその地道な取り組みが全国的に認められたものです。

■松田博史氏の受賞コメント：

「本支援事業では中小企業診断士4名がチームとなって取り組みました。この度の受賞は、そのチームメンバーや大野市、そして市内事業者の協働による成果だと感じております。地域資源を生かした高価格帯商品の創出を通じて、地方から全国に支援モデルを発信できたことを大変嬉しく思います。これを励みに、人口減少問題に直面した地方で奮闘する事業者の支援に邁進してまいります。」

お問い合わせ先

一般社団法人福井県中小企業診断士協会 事務局

福井県坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16

福井県産業情報センタービル 3F

Tel 0776-68-0170

Fax 0776-67-7429

news release

《補足資料》

◆今回の発表内容について

当協会が大野市と連携した「大野の逸品創出事業」を通じて高価格帯商品の開発支援を実施した事例紹介。地域を代表する新商品誕生や事業者の経営意識向上に寄与し、行政と診断士の連携による事業者支援の必要性を訴えました。また、支援の過程でセミナー・勉強会・個別相談・商品発表会の4段階の支援スキームを確立。他自治体においても地域課題の解決に応用できる支援スキームパッケージとしてその有効性を示しました。

◆中小企業診断士による経営革新支援事例論文発表について

（一社）日本中小企業診断士協会連合会では、全国の中小企業診断士を対象に経営革新支援事例論文を募集しており、1980年より毎年、日本中小企業診断士協会連合会が主催している「中小企業経営診断シンポジウム」で、最終候補者による論文発表および表彰式を開催しています。

全国の応募者の中から選ばれる最終候補者は5名で、中小企業庁長官賞を筆頭に、優秀賞として日本中小企業診断士協会連合会会長賞、日刊工業新聞社賞、日本経営診断学会会長賞、中小企業基盤整備機構理事長賞のいずれかが授与されます。

松田博史会員が受賞した協会会長賞は最優秀賞の中小企業庁長官賞に次ぐ優秀賞の一つとなります。

◆当協会会員の受賞歴について

2015年 川嶋正己 中小企業庁長官賞

支援機関診断士のチームによるハンズオン経営革新支援～「福井モデル」の確立～

2016年 加藤永俊 中小企業診断士協会 会長賞

紙1枚にまとめる「経営革新支援」フレームワーク～事業計画の「見える化」と実践的ロジカル思考技術の習得～

2020年 川嶋正己 中小企業診断士協会 会長賞

ICCO（イコー）分析～観光戦略立案のための新フレームワーク～

2023年 川嶋正己 中小企業基盤整備機構理事長賞

支援者のための中小企業のSDGs経営導入プログラム～持続可能な中小企業経営のためのマニュアル第一章～

2025年 松田博史 日本中小企業診断士協会連合会 会長賞

（今回）自治体の課題に合わせた「事業者支援パッケージ」の確立

※直近10年で同一協会から4回目の受賞は、会員数5,000名を超える東京都協会に次ぐもので、会員数100人未満の県としては異例の実績となります。（当福井県中小企業診断士協会会員数は96名）